

- 歴史文書館 寄贈品展・平常展 . . . . . P1～2
- 文化財課ニュース . . . . . P3
- ふるさと歴史たんけん隊  
御厨駅周辺の歴史を学びました! . . . . . P4
- コラム『仿僧川の移り変わり』鈴木亮司 . . . . . P4

2/3  
スタート

## 歴史文書館 寄贈品展・平常展

竜洋支所2階歴史文書館展示室

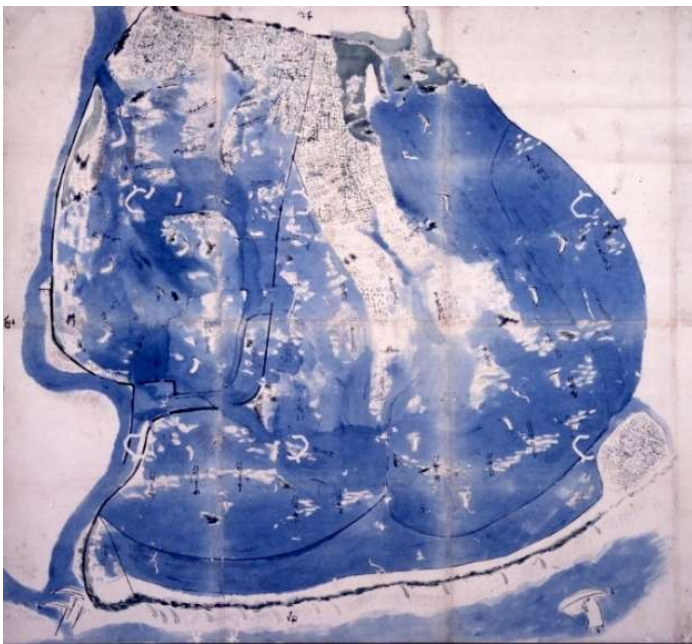
磐田市歴史文書館で、今年度寄贈された市指定文化財の「天龍川洪水絵図」と「伊奈忠次判物」などの展示をおこないます。また、平常展として過去の企画展のダイジェスト版を展示します。

### < 寄贈品展 >

大橋正隆家文書（市指定文化財含む）令和元年5月寄贈

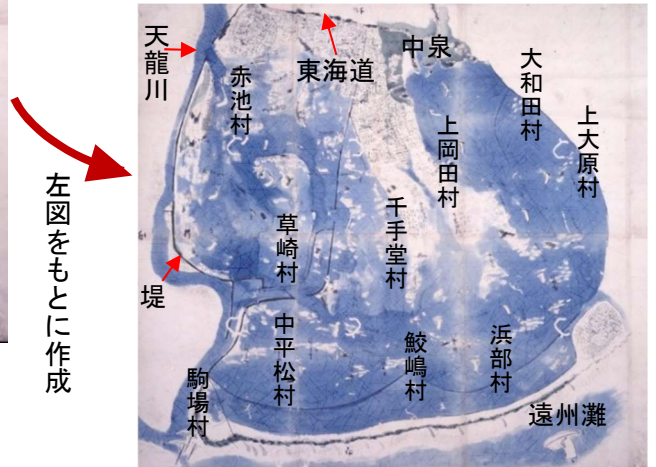
池田村の庄屋で、天龍川の築堤、用水の管理もしていた大橋家から近世・近代の379点の絵図や文書が寄贈されました。これらは『豊田町誌』などで紹介されているもので、中には磐田市指定文化財の「天龍川洪水絵図」、「伊奈忠次判物」の2点が含まれています。

#### 市指定文化財 天龍川洪水絵図



天龍川洪水絵図 文政11年(1828)

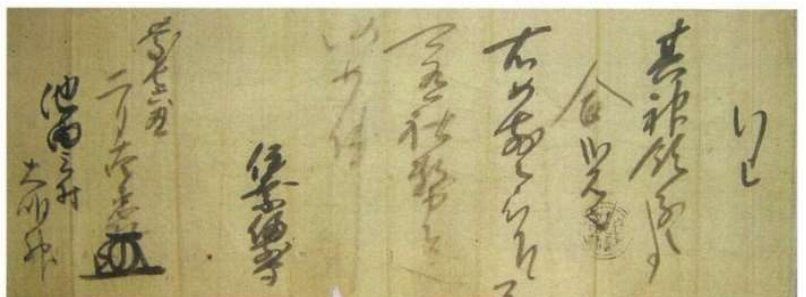
左図「天龍川洪水絵図」は文政11年(1828)に、天龍川が大氾濫を起こした際、池田村の庄屋大橋弥兵衛が実状を描かせたものです。村名や堤なども記されています。また、左図に解説した村名などを追加した図(下図)も展示します。ぜひ、見比べてください。



左図をもとに作成

#### 市指定文化財 伊奈忠次判物

伊奈忠次(1550～1610)は徳川家康に仕え、初代中泉代官を務めた人物です。右は、書状の送り主の花押(サイン)が書かれた判物という種類の書状で、伊奈が寺社に領地を寄付する旨が書かれています。



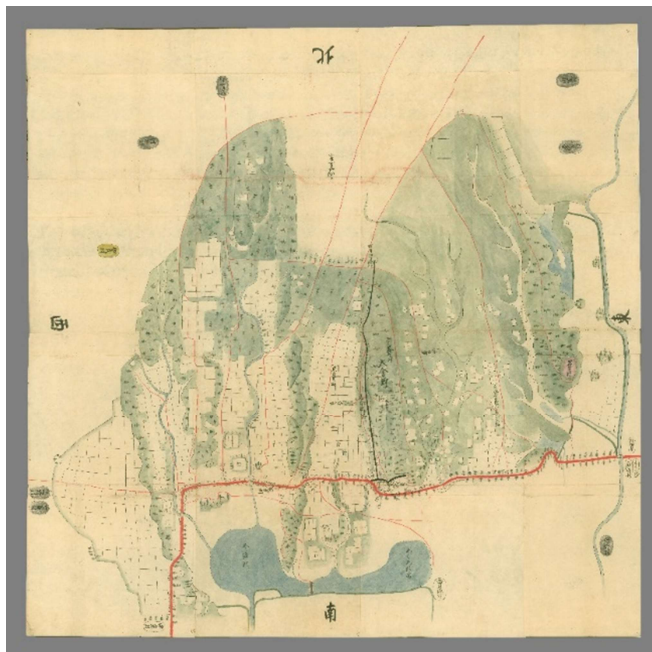
伊奈忠次判物 慶長6年(1601)

## 馬淵豊太郎家文書

令和元年5月寄贈

馬淵豊太郎家は近世の岩井村で名主を務めた家で、当主は代々「豊太郎」を名乗りました。今年度、絵図や古文書を含む、近世・近代の3000点余に及ぶ資料を寄贈していただきました。「見付町・<sup>いわいむらほらさかい</sup>岩井村原境絵図」(元禄4年(1691))や「向笠原岩井野入会馬草場絵図」(寛永18年(1641))は17世紀の村境の争論に関する重要史料です。

見付町・岩井村原境絵図 元禄4年(1691)



## 見付郵便局文書 令和元年7月寄贈

明治6年から平成2年までの見付郵便局関係文書406点を元郵便局長の倉田氏から寄贈していただきました。見付郵便局は、明治5年に「見付郵便取扱所」として開設されました。主な資料として、局長の事務引継書類や昔の郵便局局舎写真などがあります。

## < 平常展 >



寄贈品展と同時開催する平常展では、昨年度と今年度に開催した企画展、第21回「磐田の近代の幕開け〜庶民の明治150年〜」、第22回「寺谷用水〜天龍川下流域の景観を作り出した農業用水〜」、第23回「鉄道と磐田〜駅・東西路と南北路の交差〜」の3つをダイジェストで展示します。展示を見逃した方、もう一度見たい方、ぜひお越しください。

それぞれの展示の詳しい情報は、以下の文化財だよりをご覧ください。(市ホームページにて公開中です)

- 第21回企画展…文化財だより第159号(平成30年6月発行)
- 第22回企画展…文化財だより第165号(平成30年12月発行)
- 第23回企画展…文化財だより第175号(令和元年10月発行)

■休館日 土・日・祝日 **入館無料**

■展示時間 9:00~17:00(入場は16:30まで)

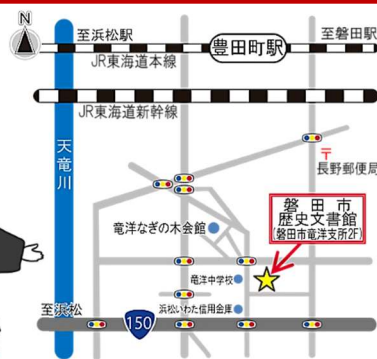
■会場 磐田市歴史文書館展示室  
(磐田市岡729-1、竜洋支所2階)

■問合せ先 磐田市歴史文書館

TEL:0538-66-9112 FAX:0538-66-9722

磐田市歴史文書館イメージキャラクター文字郎

ぜひお越し  
ください





## 文化財課 ニュース

文化財課キャラクター  
ともちゃん

# JR 御厨駅開業記念 磐田市立中央図書館で企画展 『鉄道と磐田 - 駅・東西路と南北路の交差 -』と 歴史学習会を開催します



今年、磐田市に新たに JR 御厨駅が開業します。これを記念し、中央図書館で磐田市の鉄道の歴史について学ぶ展示と学習会を開催します。

光明電気鉄道の新中泉田川間路線測量図や、計画のまま実現しなかった天龍軽便鉄道平面図などを展示します。ぜひご来場ください。

歴史文書館での展示の様子

■日時 令和2年1月11日(土)～1月19日(日) 入館無料

■展示時間 (火～金) 9:00～18:00 (土・日 9:00～17:00)

■会場 磐田市立中央図書館展示室 ■休館日 1月13日(月)

企画展担当による解説が聴けるチャンス!

歴史学習会「鉄道と磐田」(展示解説) 講師:佐藤清隆(歴史文書館職員)

1月18日(土) 午後1時30分～午後3時00分

午後1時開場 磐田市立中央図書館 2階視聴覚ホール

定員:先着100人程度 参加費:無料 申込:不要 当日、直接会場へお越しください

問合せ先 磐田市歴史文書館 TEL:0538-66-9112 FAX:0538-66-9722

## 文化財防火デーにともない 旧見付学校で消防訓練をおこないます

1月26日の文化財防火デーにともない、旧見付学校で消防署と合同の消防訓練を実施します。

文化財防火デーは、昭和24年に現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県)の金堂が火災にみまわれ、貴重な仏教画等が焼損したことがきっかけで制定されました。文化財課では毎年、消防訓練を行い、災害から文化財を守る備えをしています。

つきましては、近隣の皆様、来館者の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

■日時 令和2年1月12日(日)

9時00分～11時30分(交通規制時間) ※訓練時間10時～11時

■場所 旧見付学校(磐田市見付2452)

■交通規制 旧見付学校南側駐車場と周辺道路(右地図赤線道路部分)

※交通規制中の来館は、見付駐車場をご利用ください

■問合せ先 旧見付学校 TEL:0538-32-4511



消防訓練の様子



## ふるさと歴史たんけん隊 御厨駅周辺の歴史を学びました！

文化財課では毎年、市内の小学校5・6年生を対象に楽しく歴史を学べる活動をおこなっています。

全5回の最終回となった12月7日(土)の活動では、磐田市鎌田に新たに開業する御厨駅周辺の歴史を歩いて学びました。

隊員たちは、鎌や鍬などの農具を宝物とする鎌田神明宮を発着点に、静岡県最大級の前方後円墳・松林山古墳やその後継者の墓とされる円墳・高根山古墳などを見学し、古墳の大きさに驚いていました。また、近くの連城寺では、明治時代に東海道線の工事で見つかった経塚古墳から出土したと伝わる三角縁神獣鏡(県指定)を間近で見学しました。

今年度のふるさと歴史たんけん隊は、土器や勾玉作りのほかに、土器や瓦の拓本とりや水洗い、記号を書く作業も体験しました。土器などの「本物」にふれる貴重な機会となりました。



松林山古墳に登りました



職員による三角縁神獣鏡の説明に聞き入る様子

### 職員リレー コラム

### ほうそう 仿僧川の移り変わり

鈴木 亮司

自分の住んでいる地区には、仿僧川という川が流れています。川の堤防道路が、小学校の通学路になっていたため、下校時には川の水辺で、水切りをしたり、隠れ家を作ったり、野イチゴを摘んで食べたり、魚を捕まえたり、置いてある舟に乗ったりして、道草をして遊びながら帰りました。どこにでもある川だと自分は思っていました、川の流れは、大きく変化していました。

村の歴史を書いた本を読むと、江戸時代までは今と違い、仿僧川は、天竜東派川へ流れていました。このため長雨が降ると、排水の悪さと天竜川の水が逆流して、堤防を破壊し、周辺の村は水害に大変悩まされていました。このような状況でしたので、流域の住民は、幕府の普請役犬塚祐一郎に河道の付替えを願い出ました。犬塚は、新水路を掘削し、今ノ浦川と合流させ、太田川へ流れるように変えましたので、水害が著しく減りました。

さらに昭和の時代になると再び抜本的な対策のため新しい仿僧川の水路が計画されました。しかしこの計画は、多くの大切な美田の場所で、地区を分断して作るために、村は賛成派、反対派で紛糾しました。太平洋戦争で中断となりましたが、戦後に改修事業を再開し、再び紛糾、その後住民の協力により昭和30年頃に現在の新仿僧川が完成しました。

自分の知る限り、その後大きな水害は有りません。身近な川にも先人の尽力による治水の歴史がありました。



仿僧治水碑

【訂正とお詫び】文化財だより第177号2頁2行目、八王子神社米とぎまつりの正しい住所は、「磐田市下太1-1(八王子神社)」です。訂正してお詫び申し上げます。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田市 文化財だより](#) [検索](#)

